

実体の硬さ測定

チョット一言

物を壊さずにその場（現場）で硬さを測定する。

概要

構造物や大型部材、製品として完成した部品など、**壊すことができない**状態でも部材の**硬さ**が測定できます。

硬さは材料の強度を表す評価基準の一つであり、引張強さ（ σ_B ）に相対する指標でもあります。多くの製品（材料）は強度で区分・規格化され、流通しています。

適応事例

経験豊富な検査員が現場に出向き、**硬さ**の測定を行います。
結果はすぐに報告することができます。



種類／名称	概要／特徴	適応規格
エコーチップ (EQUOTIP)	検面に鋼球を落とし、跳ね返りの高さ（L値）を硬さに換算する。 （ダメージが最も小さい）	ASTM, DIN 規格に準拠
くぼみ直視型 ビッカースポータブル硬さ計 TIV (Through Indenter Viewing)	ビッカース硬さ同様に四角錐の圧子でくぼみをつけ、その大きさを硬さに換算する。CCDカメラを内蔵しているため、くぼみの状態が確認可能。 （小さな疵跡が残ります）	—
UCI法硬さ計 MIC10 (Ultrasonic Contact Impedance)	圧痕をつけるプローブロッドの先端が共振周波数で振動し、圧痕の接触面積によって周波数が変化することで硬さに換算する。 （小さな疵跡が残ります）	—

*どの手法においても、標準試験片でのキャリブレーションを実施します。

*** 検体から切り出したピース（試料）での測定も実施しています。**

IHI

 株式会社 IHI検査計測

URL : <http://www.iic-hq.co.jp>
R-13-0 2021/1

営業統括部：〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3
(TEL) 03-6404-6033 (FAX) 03-6404-6044
<技術担当部門> 計測事業部 材料試験部：〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-6-17
(TEL) 045-791-3519 (FAX) 045-791-3542
ソリューションエンジニアリングGr：(TEL) 045-791-3518 (FAX) 045-791-3541